ロシア：石炭鉄道輸送情報

現地報道をもとに、最近の石炭鉄道輸送情報を紹介する。

- 西シベリア鉄道は 2013 年 1～10 月、クズバスからの 1 億 6,290 万 t（前年比 2.3%増）の石炭を搬送した。これにより、クズバス地域の貯炭量は 300 万 t 縮小したとのこと。
- ユジノサハリンスクで行われた会議で極東鉄道の代表者が、極東の港への鉱物資源鉄道輸送量が 2020 年に向けて、2 倍の 1 億 1,300 万 t に増加するとの見通しを述べた。これは 2012 年実績比で、5,500 万 t の増加を意味する。エリガ炭田及びエレゲスト炭田から大規模な輸送量が予測され、ワニノ港向けの輸送量合計が年間 2,400 万 t に達する可能性があるとのこと。
- ロシア鉄道東部（東シベリア鉄道、極東鉄道、ザバイカリエ鉄道）では、3,700km において輸送処理能力が不足しており、5,620 億 RUB（うち 3,020 億 RUB をロシア鉄道が出資）をかけてシベリア横断鉄道及び BAM 鉄道のインフラ強化が行われる予定。約 500km の幹線及び 47 の駅・退避駅の建設などが計画されている。

（モスクワ　屋敷真理子）

おことわり：本レポートの内容は、必ずしも独立行政法人石油天然ガス・金属鉱物資源機構としての見解を示すものではありません。正確な情報をお届けするよう最大限の努力を行ってはおりますが、本レポートの内容に誤りのある可能性もあります。本レポートに基づきとられた行動の帰結につき、独立行政法人石油天然ガス・金属鉱物資源機構及びレポート執筆者は何らの責めを負いかねます。なお、本資料の図表類等を引用等する場合には、独立行政法人石油天然ガス・金属鉱物資源機構資料からの引用である旨を明示してくださいますようお願い申し上げます。